

特別セミナー

貴重な臨床・基礎医学研究の成果を 有効に社会還元するためのヒント

世界の製薬会社が欲する研究成果を ドブに捨てないために

講師

山本特許法律事務所

駒谷 剛志
弁理士



実施日

2018年10月19日(金)
17:30~19:00

場所

臨床講義室1

略歴

1992年 東京大学薬学部製薬化学科
1994年 東京大学大学院薬学系研究科修士課程
1994年 スイスF. Hoffmann-La Roche, Ltd.
1998年 東京大学大学院薬学系研究科博士後期
課程(博士(薬学))
1998年 山本秀策特許事務所入所
2000年 弁理士登録
2004年 特定侵害訴訟代理業務の付記

概要(講師の思い)

医薬品や医療機器の研究開発は、個別化医療の時代を迎え、研究開発を支える知的財産の世界でも臨床現場や基礎医学の知識が必須となってきています。

臨床や基礎の医学研究は、「シーズありき」のスタートでなく、Unmet Medical Needsに応えたい「明確なゴール」ありきで始まるのが実際ではないでしょうか？このことは、まさに知財戦略にマッチした考え方なのです。

講師が業務の中で日々接する「日本の大学のシーズ」は、決してアメリカを含む諸外国に負けていないと感じています。しかし、知財戦略については、アメリカは本邦と比較にならないほど先んじており、臨床現場や基礎医学の知識を活用して製品開発を行い、製品を世に送り出しています。

本セミナーでは、講師の経験をもとに、臨床現場や基礎医学の知識や研究の成果を、知財戦略として《実際使えるTips》をみなさまと共有したいと思います。

【お問い合わせ】

研究戦略推進室 産学連携推進部門
松浦 昌宏 (内線 2936)
(E-mail: m18matsu@)

SUMS EDGE-NEXT



国立大学法人

滋賀医科大学
SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE